

---

**何となくミカンが入ってた段ボールを被ってみた。**

悪者はいない

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

何となくミカンが入ってた段ボールを被ってみた。

### 【Nコード】

N0307BA

### 【作者名】

悪者はいない

### 【あらすじ】

ミカンの段ボールを被った阿呆がトラウマを思い出す話。

【暇すぎてバケツを被った。】

の続編です

へい、ちわーッス。

この前バケツ被ってゲロった奴です。

あの後は友達が後始末したけど、俺は朝起きたらベランダで鳥さんおはよう此処ドコデスカ？だったぜ。

まだ夏だったからいいけど、冬だったら凍死してるぜ俺。

しかもゲロロンで汚れたまんまだし。

アイツはさつさと家に帰ってるし。

いや、必死に後始末をしてくれたらしい無惨な光景が広がってたけど。

ただね、扉を開けた瞬間の異臭はハンパなかった。

絶対入りたくないと思い、蚊と格闘しながら一時間はベランダで日光浴していた。

そんなことはどうでもいいんだ。

今はこの安心感に浸ってるのだから。

田舎から送られてきたミカンの箱。

中のミカンは遊びに来た友人に分け与えて、そつと被ってみた。

いやぁ…段ボールいいね！

この段ボールの臭いがめっちゃくちや落ち着く。

ミカンがめっちゃくちや入ってたからその臭いも相まって、うっん素

晴らしい！

しかもこの広さ！

この大きさ！

この高さ！

この臭い！

この解放感！

いいね！

いいいいいよ！

この傷跡とか田舎を思い出すね！

母ちゃん思い出すね！

ガキの頃に見たミカン畑を思い出すね！

これは明らかにスーパ―のミカンだけど！

にしても、何だろう…この安心感。

猫が潜り込む気持ちかわかる。

俺も猫になりたい。

誰か美人なお姉さん可愛がってくれ。

「で、お前は何時までそれを被ってた？かれこれ二時間三分はそのままだぞ」

「俺は一生これを被って生きていく」

「あつそ」

隣でモシャモシャミカンを貪ってる友人を無視して余韻に浸る。

あの夏の日。

照り付ける太陽。

ミカン畑の香り。

ばあちゃんのブツサイクな笑顔。

蜂に襲われる俺。

それを眺めて笑う家族。

ゲラゲラゲラゲラ。

ギャハハギャハハハ。

……。

「アイツらめ…」

「は？」

スッ

両手を段ボールの中にイン。  
グツと少しだけ力を込めて厚みを確認。  
集中力や童貞力をその手に高める。

「お前：何やらかす気だ？やめろよ？ホントにやめろよ？」  
「バルスああああああああああ！！！」

バツリイイインン！！

「ぶぐう！！？」

蜂がトレードマークの段ボールを真つ二つに粉碎。  
ついでに友人の顔面に俺の平手が直撃。  
中指と薬指が鼻の穴にミラクルヒット。  
恐る恐る引き抜くと鼻くそと血が爪を汚した。  
うわ、汚い。  
手を洗わないと。

「お、まえ…なあ…ガクッ」

ボタボタと鼻血を垂らす友人を尻目にさっさと台所で手を洗う。  
うえ、爪に詰まってる。

マジで最悪。

アイツ死んだ方がいいって。

てか、何で横に座ってたんだよ。

何で大晦日に家でミカン食ってたんだよ。

ホモか。

気色悪い。

ガチで死ね。

…てか、アイツコタツに鼻血つけてないよな。  
先月買ったばかりのオニユーなんだから。  
一滴でもついてたら真っ裸で放り出してやる…

「つぎ、いやああああああああああああああああああ  
あああああああ！！！！！？？？」

何か死んでる！？

血の水溜まり出来てやがる！！

アイツピクリとも動いてねえ！！

…んなことより！！

「お前コタツに汚い血を浸すんじゃないやねえええええええええええ！！！」

ガキツ  
！！

「べぶう！！？」

顔面キツクで友人をコタツから引き摺り出す。  
うげえ。

靴下にも血がついちまった。

マジなんなんコイツ。

死ね！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0307ba/>

---

何となくミカンが入ってた段ボールを被ってみた。

2011年12月31日19時52分発行